

# 令和5年度 高知県普通会計決算見込みについて（ポイント編）

## 1 歳入歳出決算額の状況

（単位 百万円、％）

○新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、感染症対策に係る各種事業が終了したことにより、歳入・歳出ともに前年度を下回った。

○実質収支は、27億24百万円の黒字。

区分	R5年度	R4年度	増減額	増減率
歳入総額 A	483,885	496,689	△12,804	△2.6
歳出総額 B	473,555	483,483	△9,928	△2.1
形式収支 C (A-B)	10,330	13,206	△2,876	△21.8
繰り越すべき財源 D	7,606	9,532	△1,926	△20.2
実質収支 E (C-D)	2,724	3,674	△950	△25.9

### ① 歳入科目の主な減要因

**R4:4,966億89百万円 → R5:4,838億85百万円 (△128億4百万円)**

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減などにより、**国庫支出金が前年度比で172億87百万円の減**となった。また、普通交付税に係る基準財政収入額の増などにより、**実質的な地方交付税（地方交付税+臨時財政対策債）が前年度比で18億37百万円の減**となった。

### ② 歳出科目の主な減要因

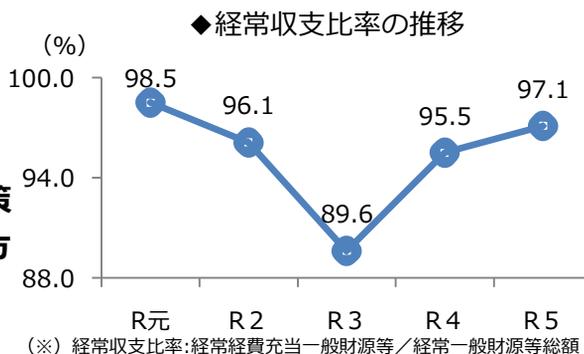
**R4:4,834億83百万円 → R5:4,735億55百万円 (△99億28百万円)**

○新型コロナウイルス感染症対策のための補助金の減などにより、**補助費等が前年度比で99億75百万円の減**となった。

## 2 各財政指標の状況

○財政構造の弾力性を示す経常収支比率（※）は、前年度から1.6ポイント増加し、97.1%となった。

○県債残高は、臨時財政対策債の償還が進んだことなどにより、前年度から減少。一方、臨時財政対策債を除く県債残高は、地方交付税措置率の高い地方債を活用し、防災・減災に資するインフラ整備を加速化した結果、前年度より増加。



### ① 経常収支比率

○社会保障関係経費の増などに伴い、算定の分子となる経常経費充当一般財源等が増となったことから、前年度から増加した。

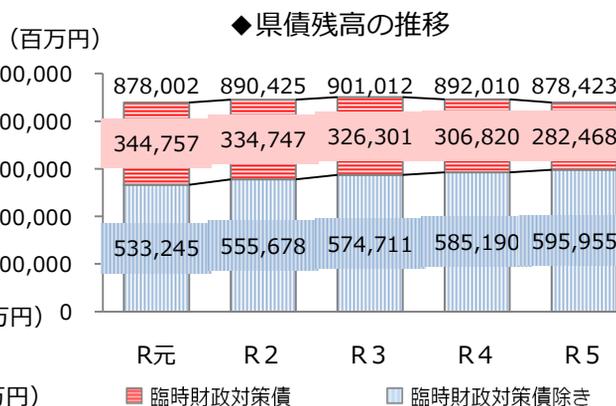
### ② 県債残高

○県債残高総額

R4:8,920億10百万円 → R5:8,784億23百万円 (△135億87百万円) 0

○臨時財政対策債を除く県債残高総額

R4:5,851億90百万円 → R5:5,959億55百万円 (+107億65百万円)



## 3 将来に向けた基金の確保

○財政調整的基金は、減債基金（ルール外）の取崩し増などにより、前年度比で21億40百万円減少し、R5年度末残高は340億28百万円となった。

